■ 共同研究班の概要 Summary of the Joint Research Group

| 班 | 基盤研究班(C班) | | | | |
|--|---|--|--|--|--|
| Group Category | Type C Research Projects(Basic Research Projects) | | | | |
| 設置期間 | 2023年4月~2026年3月 | | | | |
| Period of Activity | April 2023 – March 2026 | | | | |
| 研究課題名 | モノ・知識・環境 | | | | |
| Research Topic | Things, Knowledge, Environment | | | | |
| 研究目的の概要 (400字程度) | 本研究では、知識をつくるモノについて考えてみたい。知識とは、人間の脳のなかでのみ生じてくるものではない。人間は手をつかって対象に触れ、操作し、加工することで知識を生み出してきた。現代社会における知識は、きわめて複雑な機械によって生み出されている。自然についての知識は、実験装置や実験生物、標本などによって日々、生産されつづけている。社会についての知識は、紙やコンピュータにデータとして書き込まれることで膨大に蓄積されてきた。これらのモノと知識のネットワークは、私たちが生きる世界の秩序と構造をつくるテクノロジーとして作動している。つまり現代においてモノは、人間をつつみこむ環境になっているのである。そこでモノは、どのようにして、いかなる環境を生み出しているのだろうか。そして増殖するモノのなかで、人間はどのような存在になっているのだろうか。本研究では、人文学の多様なアプローチをもとに、自然科学、工学、社会科学の知識について検討し、人文学そのものについても自己言及的に考察を深めたい。 | | | | |
| Summary of Objectives (Approx. 400 characters) | This project will focus on things that generate knowledge. Usually, we assume knowledge to be intellectual information processed inside our brains. However, knowledge is always mediated by things. Humankind has created knowledge by using their hands to manipulate natural products. In modern society, knowledge is produced through complex machines. In the natural sciences, things such as instruments, model organisms, and specimens are used as the media to produce knowledge. Knowledge of society is also accumulated as information on paper and in computers. The network of things and knowledge constructs the order and structure of our living world. It means that the network of things is now the environment of humankind. This project tries to clarify what kind of environment things are creating and how such an environment has changed our lives. Based on various approaches from the humanities, we focus on the natural sciences, engineering, and social sciences and also deepen consideration of knowledge production in the humanities using a self-referential approach. | | | | |
| 研究会開催予定等 | 年10回 金 10:00-12:00 | | | | |
| Planned Meetings, etc. 10 times / year, Friday 10:00-12:00 | | | | | |

■ 班員名簿 Member List

Last Update: September 25, 2025 共同研究における役割分担 Nº 班長・副班長 氏 名 区分 所属 ・ 職名 専門分野 (30字程度) Division of Roles within the Group Coordinator / Field of Affiliation / Position Nο Name Category Deputy Coordinator(s) specialization (Approx. 30 characters) 科学史 1 班長 瀬戸口 明久 所内 教授 科学史・環境史の観点からの分析 2 石井 美保 所内 教授 文化人類学 文化人類学の観点からの理論的・具体的な分析 農業史 3 藤原 辰史 所内 ・教授 農業におけるモノについての分析 ロシア史・グル 所内 伊藤 順二 ・准教授 ロシア史における具体的な事例の分析 4 ジア史 ERICSON, Kjell ・准教授 5 所内 科学技術史 科学技術史・環境史の観点からの分析 小堀 聡 准教授 日本経済史 6 所内 日本経済史の観点からの分析 7 平岡 隆二 所内 ・准教授 科学史 近世東アジア科学の観点からの分析 科学史・メディ 8 岡澤 康浩 所内 助教 科学史・メディア論の観点からの理論的・具体的な分析 ア論

最終更新日 : 2025年9月25日

| Иō | 班長・副班長 | 氏 名 | 区分 | 所属 ・ 職名 | 専門分野 | 共同研究における役割分担 (30字程度) |
|----|--|--------------|----------|---|----------------------------|---|
| Nō | Coordinator / Deputy Coordinator(s) | Name | Category | Affiliation / Position | Field of specialization | Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters) |
| 9 | | 久保 旭 | 所内 | ・特定助教 | 人文情報学 | 情報学の観点からの情報提供 |
| 10 | | 太田知宏 | 所内 | ・特定助教 | 日本近現代史 | 日本近現代史・技術史の観点からの情報提供 |
| 11 | | 中尾 麻伊香 | 国立大学 | 広島大学大学院人間社会科 学研究科・准教授 | 科学技術史 | 科学技術史の観点からの分析 |
| 12 | | 森下 翔 | 公立大学 | 山梨県立大学地域人材養成 センター・特任助教 | 文化人類学 | 文化人類学の観点からの理論的・具体的な分析 |
| 13 | | 標葉 隆馬 | 私立大学 | 慶應義塾大学大学院メディ アデザイン研究科・准教授 | 科学技術社会論 | 科学技術社会論の観点からの分析 |
| 14 | | 河村 賢 | 私立大学 | 大阪経済大学国際共創学 部・講師 | 科学社会学 | 科学社会学、テロリズム研究の観点からの分析 |
| 15 | | 都留 俊太郎 | 外国機関 | 中央研究院台湾史研究所 · 助研究員 | 台湾史 | 環境史の観点からの分析 |
| 16 | | 藤本 大士 | | ハイデルベルク大学トラン スカルチュラル・スタ ディーズ・センター ・助教 | 医療史 | 医療におけるモノについての分析 |
| 17 | | KNAUDT, Till | 外国機関 | ライプツィヒ大学東アジア 研究所日本学・助教 | 日本近現代史学 | 日本近現代技術史の観点からの分析 |